令和２年度　　尾道市立久保中学校　学校教育全体計画

令和２年４月１日

【学校教育目標】

自ら学び，心豊かにたくましく未来を切り拓く生徒の育成

～チーム・貢献・挨拶～

＜ミッション＞
小中連携による自己有用感を育む教育活動の推進

＜ビジョン＞
確かな学力を身に付け，自他を尊重し，保護者・地域から信頼される学校

＜めざす生徒像＞
- 自他を認め，大切にできる生徒
- 自ら学ぶ生徒
- 地域に誇りを持ち，貢献できる生徒

＜尾道教育みらいプラン２＞
夢と志を抱き、グローバルな社会を生き抜く子どもの育成

〈　重　点　目　標　〉

めざす資質・能力（説明力・自己有用感）

① 基礎学力	② 説明力	③ 自己有用感	④ 挨拶
久保検定において，正答率 60%以上の生徒を 80%以上，30%以下の生徒を８%以下	理由や根拠を明確にして伝えるアンケート 教師 90%以上 生徒 65%以上	自己有用感の高い生徒 60%以上	自分から挨拶ができる 生徒 90%以上 教師８0%以上

研究推進

〈研究主題〉

「わかる」「できた」と感じ，自己有用感が高まる授業づくり

① 久保中授業スタイル
- 「めあて」と「振り返り」
- 説明力の育成（対話的学び）
- 逆向き設計

② 「わかる」「できた」と思わせる工夫
- ユニバーサルデザインの観点
- ICT の活用

生徒指導

〈生徒指導目標〉

自己有用感の向上をめざして

① 授業規律等の徹底
- 時間，挨拶，忘れもの

② 生徒主体の活動
- 専門委員会の活性化

③ 教育相談の充実
- 教育相談委員会の定期的開催
- データを活用した教育相談
- 相談室の充実

④ 自己有用感の向上
- 承認活動
- 縦割り活動（掃除，行事）

地域連携・小中連携